

## ＜日韓国際学術セミナー＞

同志社大学—（韓国）ソウル市立大学校 2008年共同夏季セミナー

「主題：21世紀観点から見た日韓経済関係の再照明—朝鮮通信使の足跡を訪ねて」

日時：2008. 8. 18（月）10：30—13：00

場所：京都 同志社大学 寒梅館6階大会議室

共催：同志社大学：現代アジア研究センター・ビジネス研究科、社会学会  
ソウル市立大学校 経商大学

（プログラム）

開会式：10：30—10：50

歓迎辞：同志社大学（宇治郷毅社会学部教授）

答辞：ソウル市立大学校（郭泰運経商大学学長）

紹介：ソウル市立大学校側（鄭在貞教授による教員紹介、25名）、  
同志社大学側（宇治郷毅教授による教員紹介3名）

主題発表及び討論：11：00—13：00

司会：姜哲圭（ソウル市立大学校教授）

発表者

（ソウル市立大学校）

安斗淳（経済学部教授）「外換危機以前と以後の韓国経済」

尹暢賢（経営学部教授）「韓国と日本の資本市場の発展戦略」

李誠鎬（経営学部教授）「韓国と日本の主要大企業の経営スタイル比較」

（同志社大学）

石田光男（社会学部長・社会学部教授）「日本の成果主義人事改革—1980年代から何が変わったのか」

林廣茂（ビジネス研究科教授）「Global Competition Between Japanese And Korean Automobile」

阿部茂行（現代アジア研究センター長、政策学部教授）「Japan's Strategy for Economic Integration in East Asia」

討論

（使用言語）

日本語、韓国語、英語

注：韓国語通訳2名

セミナー終了後、 昼食及び記念撮影：13：00—14：00

（SECOND HOUSE WILL）